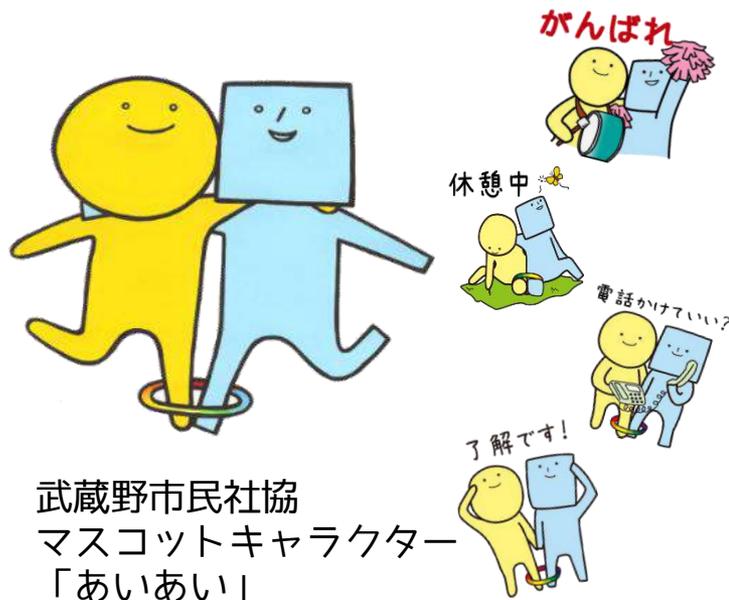


武蔵野市民社協の取り組み

～地域活動者の支援の視点から～

社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会



50ポイント（120円相当）で販売中！！

武蔵野市の概要

※令和2年10月1日現在

《武蔵野市の概要》

人口 147,677人

世帯数 77,932世帯

高齢化率 22.2%

面積 10.98km²

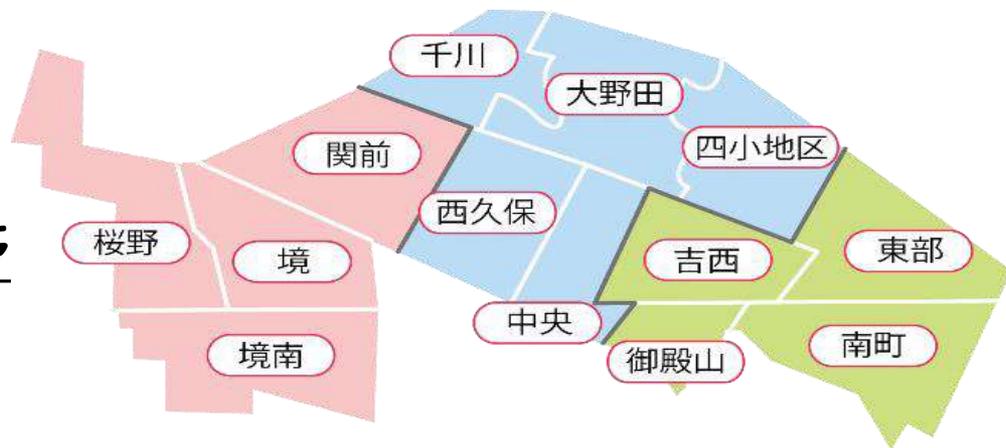
町会(自治会)加入率

市内一律に網羅された町会(自治会)はない

市の特色

中央線「武蔵境」「三鷹」「吉祥寺」の3駅を中心とした市で、コミュニティ条例に基づく、市民自治、市民参加のコミュニティづくりに取り組んできた。住宅の約7割が集合住宅であり、面積が小さいため、人口密度は全国2位の高さである。(23区を除く)

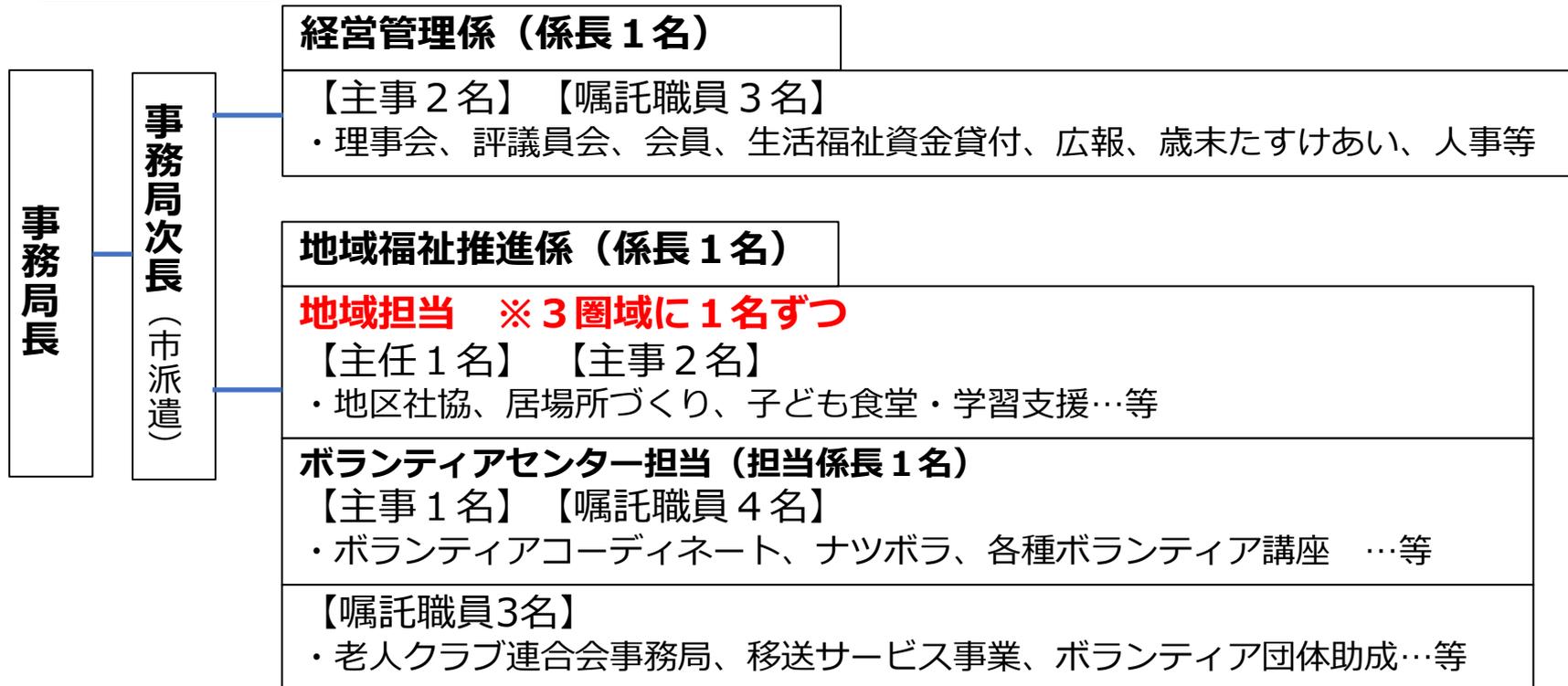
新宿や渋谷へのアクセスがよく便利なことや、公園等が多く、緑豊かな環境のため「住みたいまち」ランキングの上位になっている。



武蔵野市民社協の概要

職員数 21人 (正職員11人(※平均年齢35歳) / 嘱託職員10人)

組織体制



社協の特色

介護保険事業や地域包括支援センターの運営などは行っておらず、小地域福祉活動とボランティアセンターの事業を中心としている。(権利擁護事業は福祉公社で実施)

地域福祉コーディネーターに関連するこれまでの経過

平成24年3月：第2期健康福祉総合計画 第4期武蔵野市地域福祉計画

平成25年3月：第3次武蔵野市地域福祉活動計画

地域福祉コーディネーターの配置のための検討委員会の設置

※平成26年度の地域福祉計画一部改訂により、
「生活支援コーディネーターの導入を見て検討」することに

【参考】

<平成26年度～生活支援コーディネーター>

1層：市高齢者支援課

2層：社会福祉法人等の在宅介護・地域包括支援センターの職員

<生活困窮者自立支援>

市生活福祉課・武蔵野市福祉公社

平成30年3月：第3期健康福祉総合計画 第5期武蔵野市地域福祉計画

平成31年3月：第4次武蔵野市民地域福祉活動計画 ※別紙参照

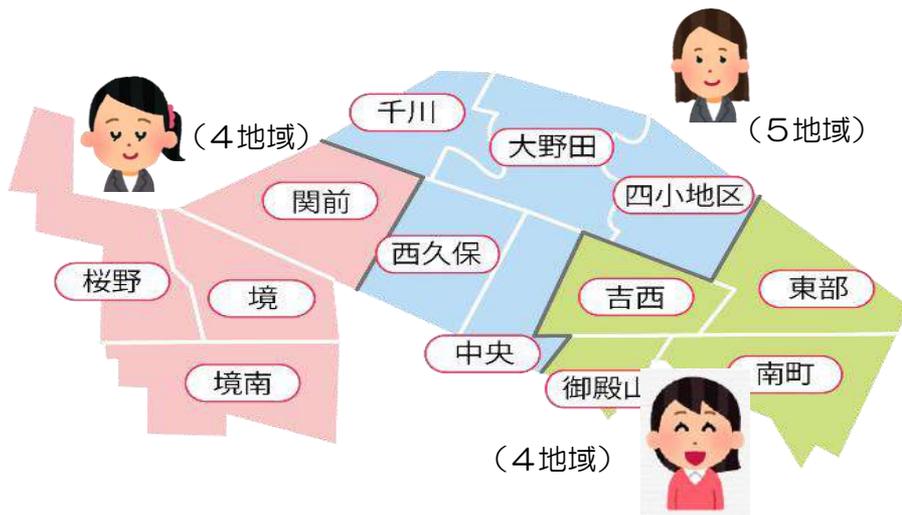
地域福祉コーディネーター検討委員会設置

※地域福祉計画「市における各種コーディネーターなどの役割を勘案し、地域福祉コーディネーターを設置することを検討」

★令和3年4月：市（生活福祉課内）に『福祉総合相談窓口』を配置し、福祉相談コーディネーターを配置（市職員3名）

地域社協・福祉の会って？【地区社協】

おおむね小学校区ごとに活動（13地域）



地域担当職員（3圏域）1名ずつ

高齢者、子育てサロン、丁目の会、居場所づくり、防災活動、福祉まつり、広報紙の発行、エリア別地域福祉活動計画の策定等

※平成7年から発足13地域合計で約1200名が活動



地域社協（福祉の会）は、市民社協からの年額上限30万円の助成金で活動しています。（歳末たすけあい地域福祉活動募金、市民社協自主財源による）



境南地域社協・重点目標

☆ 地域ふれあいの場(居場所)や、支え合いの仕組みづくり!

〈高齢者・子ども・障がい者・マンション・転入者・外国人〉

☆ 地域社協の活動の見せる化と福祉の担い手づくり!

スローガン

笑顔あふれる境南町!

隣近所の助け合いに勝るものなし!

《今後の取り組み》

1. 支え合いの仕組みづくり強化

防災-減災をキーワードに地域ネットワークの連携を深める

2. 地域ぐるみで子育て支援

「くまのこひろば」を定着させ、地域に住む親子の子育てと交流を支援する

3. 障がい者や外国人に優しい地域

既存の団体や施設との連携を図り、障がい者や外国人を支援する

4. 境南地域社協の活動の見せる化

境南地域社協のPRに積極的に取り組む
〈カラー版広報紙・のびのびPR ちんしん・名人リポート活用ほか〉



スローガン

世代を越えてつながろう

人と出会うまち四小地区

目 標

地域のネットワークをつくる



取 り 組 み

近所でのつながりをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> • にこにこ体操・お花見会・食事会・クリスマス会など既に実施している事業の充実 • 「あいさつ」のしあえる地域にしよう。引っ越して来た人とも「あいさつ」しよう • 災害時要援護者対策事業
居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 「にこカフェ」を実施 北コミセンのロビーでお茶やおしゃべり、誰でも気軽に参加できる場になっている • 必要に応じ適切な情報が届けられるよう心がけている
効果的な情報の発信をしよう	<ul style="list-style-type: none"> • イベントのチラシ・ポスターを掲示する • 発行している「ニュースレター」の中に地域の情報を集約し、掲載する • 社協のフェイスブックを活用し、会の情報を発信する
中学生と地域をつなごう	<ul style="list-style-type: none"> • 中学生に防災訓練などの情報を知らせ、参加してもらう
多世代交流を活発にしよう	<ul style="list-style-type: none"> • 交流のきっかけづくりを考える
地域の新たな人材を発掘しよう	<ul style="list-style-type: none"> • 男性にも役割を持ってもらい手伝ってもらう • 夜や土日を活用する

地域担当職員はこんなことをしています①

活動先に**出向き**参加する

(高齢者サロン、子育てサロン、居場所、防災訓練、
丁目懇親会、住民交流コンサートなど)

その活動の様子を知っていなければ運営の支援はできない。
出向いた先で出会った市民と交流し、関係を深める。

雑談から相談になることも多い。**必要な機関につないでいる。**

ただ一緒にお茶を飲んで
いるだけでなく「地域の
ことを知る」「相談に
対応する」意識を持って
参加しています。



出向いた先で、市や市民社協
の情報など、色々なことを
質問されます。市民社協を
代表して参加していること
をいつも意識しています。

出向いた先で受けた相談が全体の **3 ~ 4 割** (別紙参照)

地域担当職員はこんなことをしています②

地域活動団体、ボランティア団体の
会議や打合せなど**話し合いへの参加**

目的

- ① 話し合いに参加し、課題を一緒に考える
- ② 市民社協からの情報提供
(市関連などの情報も必要に応じて)
- ③ 他の団体の事例紹介、アドバイスなど
- ④ 活動の様子 の把握、地域課題の把握
- ⑤ 団体内の様々な出来事のフォロー



会議の司会進行などは
しません。あくまでも
側面的支援です。

会議の場で個別のケースをその団体で支援できないか社協から打診することもあります

<実践例>

- ・ 要支援2の視覚障がい者の月2回の買い物の支援
- ・ 子育て世帯（不登校）の子どもの遊び相手、保護者の話し相手
 - ・ 20代男性の通所施設までの朝の見守り

小地域福祉活動の推進の成果と課題

- ・ ご近所とのつながりが必要な人に活動を紹介
⇒ 日頃から連絡を取り合う関係に
- ・ エリア別計画の策定と推進
⇒ 住民活動の温かさ、まちの価値、安心感
- ・ 小地域福祉活動がきっかけで近所の知り合いが増えた人が多数いる
- ・ **社協職員が相談できる地域住民が多数いる**
- ・ **活動者の支援を通じて、活動者の困りごととも早期に発見できる**

【課題】

- ・ 専用の活動場所の確保
- ・ 活動中心者の高齢化、不足
- ・ 転入、転出の多い市での地域活動
- ・ 戸別募金のような従来の仕組みの限界（募金額 - 73%減）

■ 市民社協の事業に関連する相談 9件（－14件）

■ ニーズを抱えている個人の相談 37件（－25件）

1位：福祉サービス、相談機関の紹介 18件（－18件）

2位：特定の活動や内容に関する相談 10件（＋2件）

3位：近況報告など 6件

4位：居場所や住民同士の交流の場に参加したい 2件（－3件）

5位：その他 1件

※「3位：近況報告など」と「5位：その他」の合計7件は前年度比－6件

■ ボランティア希望（活動）者からの相談 61件（－3件）

1位：寄付（寄贈）したい 35件（＋15件）

2位：ボランティアしたい 22件（＋7件）

3位：ボランティア活動中の悩み、活動報告など 2件（－5件）

4位：地域活動等への見学の希望、紹介など 1件（－1件）

5位：その他 1件（－19件）

- 1位：新型コロナウイルス関連 75件 (+52件)
- 2位：活動費や助成金、会計処理等 52件 (+17件)
- 2位：市民社協の事業に関する事 52件 (-34件)
- 4位：団体の今後の展望や大きな方向性等 49件 (+32件)
- 5位：メンバー間の悩み(考え方の違いなど) 45件 (+18件)
- 6位：チラシの配布や広報、PR等 42件 (+31件)
- 7位：近況報告など 40件 (新)
- 8位：名簿、個人情報管理、書類、資料等 35件 (+18件)
- 9位：市役所や関係機関に関連したこと 31件 (+16件)
- 10位：団体の会則、会議の方法、役割分担等運営に関する事 29件 (+1件)
- 11位：他団体との協力方法、関係等 25件 (-1件)
- 12位：居場所や住民同士の交流の場を立ち上げたい 22件 (-3件)
- 12位：他団体の様子について 22件 (新)
- 12位：特定の個人のケース 22件 (新)
- 15位：ボランティア募集、協力者等 16件 (-1件)
- 16位：寄付(寄贈・空き家の提供などを含む) 11件 (+4件)
- 17位：ボランティア保険・行事保険等 8件 (-4件)
- 18位：その他 7件 (-87件)
- 19位：活動場所、部屋を借りたいなど 4件 (-4件)
- 19位：メンバーの研修に関する事 4件 (+1件)

＜関係機関別＞

- ・子ども政策課 30件 (+11件)
- ・高齢者支援課 27件 (+9件)
- ・在宅介護・地域包括支援センター 25件 (+1件)
- ・地域支援課 15件 (-4件)
- ・その他法人、企業 9件 (-2件)
- ・生活福祉課 4件 (+2件)
- ・教育支援課、教育企画課、指導課 3件 (±0件)
- ・その他福祉、医療関係の事業所 3件 (-3件)
- ・高齢者関係、リハビリ関係の事業所 2件 (-6件)
- ・環境政策課 2件 (新)
- ・その他市役所等関連機関 2件 (-5件)
- ・障害者福祉課 1件 (±0件)
- ・健康課 1件 (新)
- ・市民活動推進課 1件 (±0件)
- ・福祉公社 1件 (±0件)

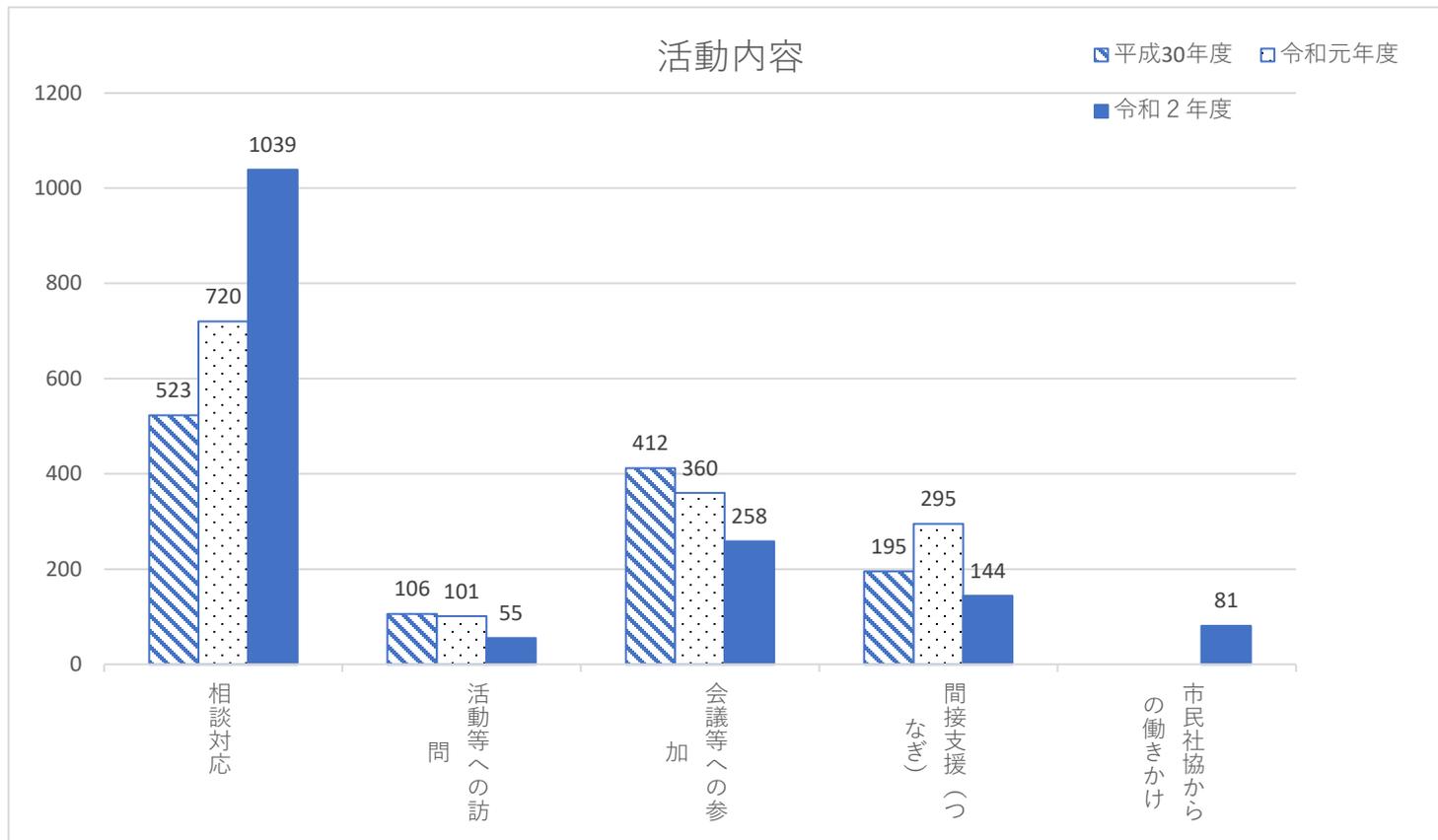
※ () 内は前年度比

<相談内容別>

- ・ テンミリオンハウスに関する事 28件 (+26件)
- ・ 地域社協に関する事 24件 (-23件)
- ・ フードバンク、パントリー関係団体に関する事 23件 (新)
- ・ その他 13件 (-16件)
- ・ 居場所づくりに関する事 11件 (-14件)
- ・ 特定の個人のケースに関する事 11件 (+6件)
- ・ 子ども食堂関係団体に関する事 7件 (+2件)
- ・ 地域ケア会議に関する事 6件 (+3件)
- ・ 寄付(寄贈)に関する事 3件 (-1件)

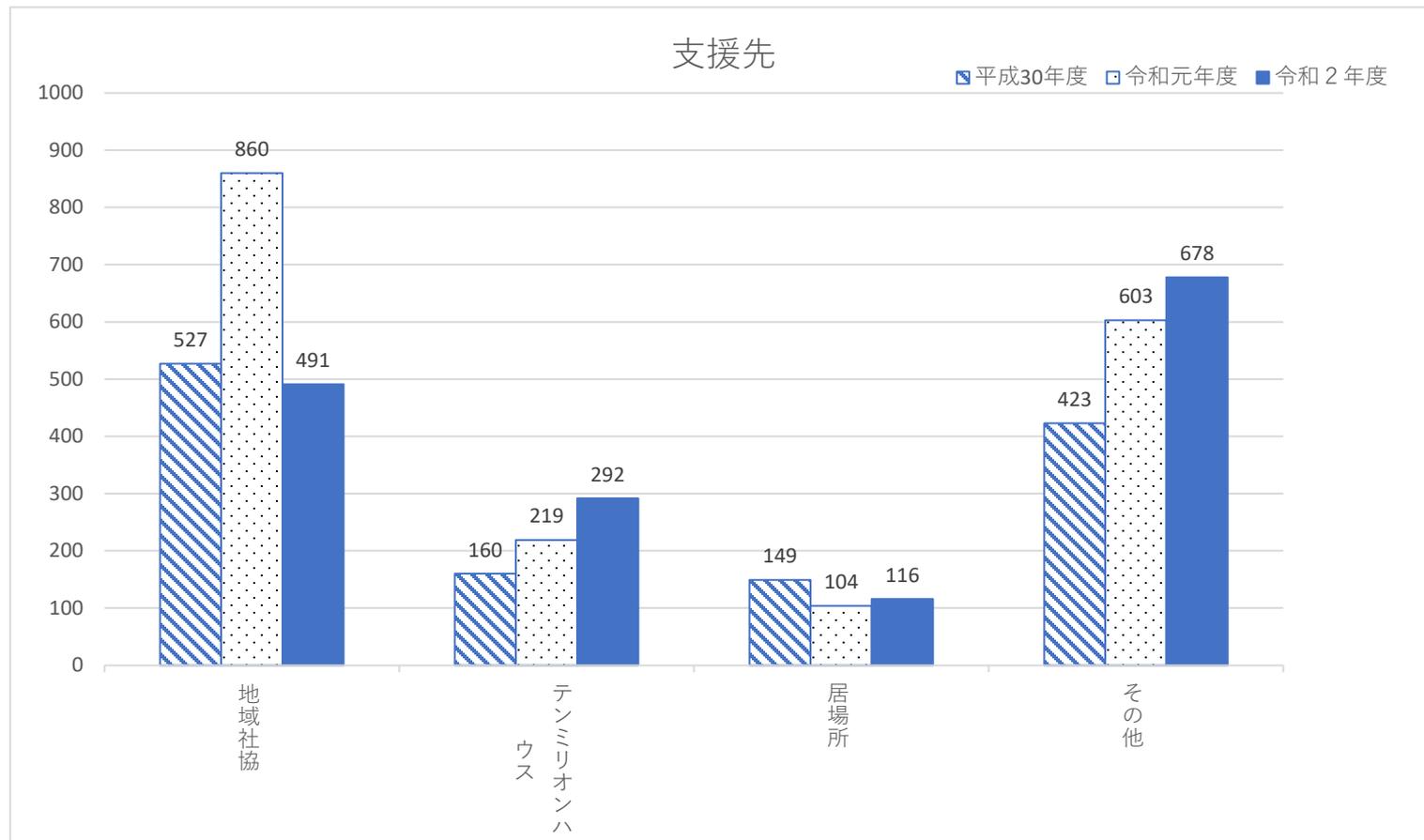
※ () 内は前年度比

地域担当職員活動内容別件数（平成30年度～令和2年度）

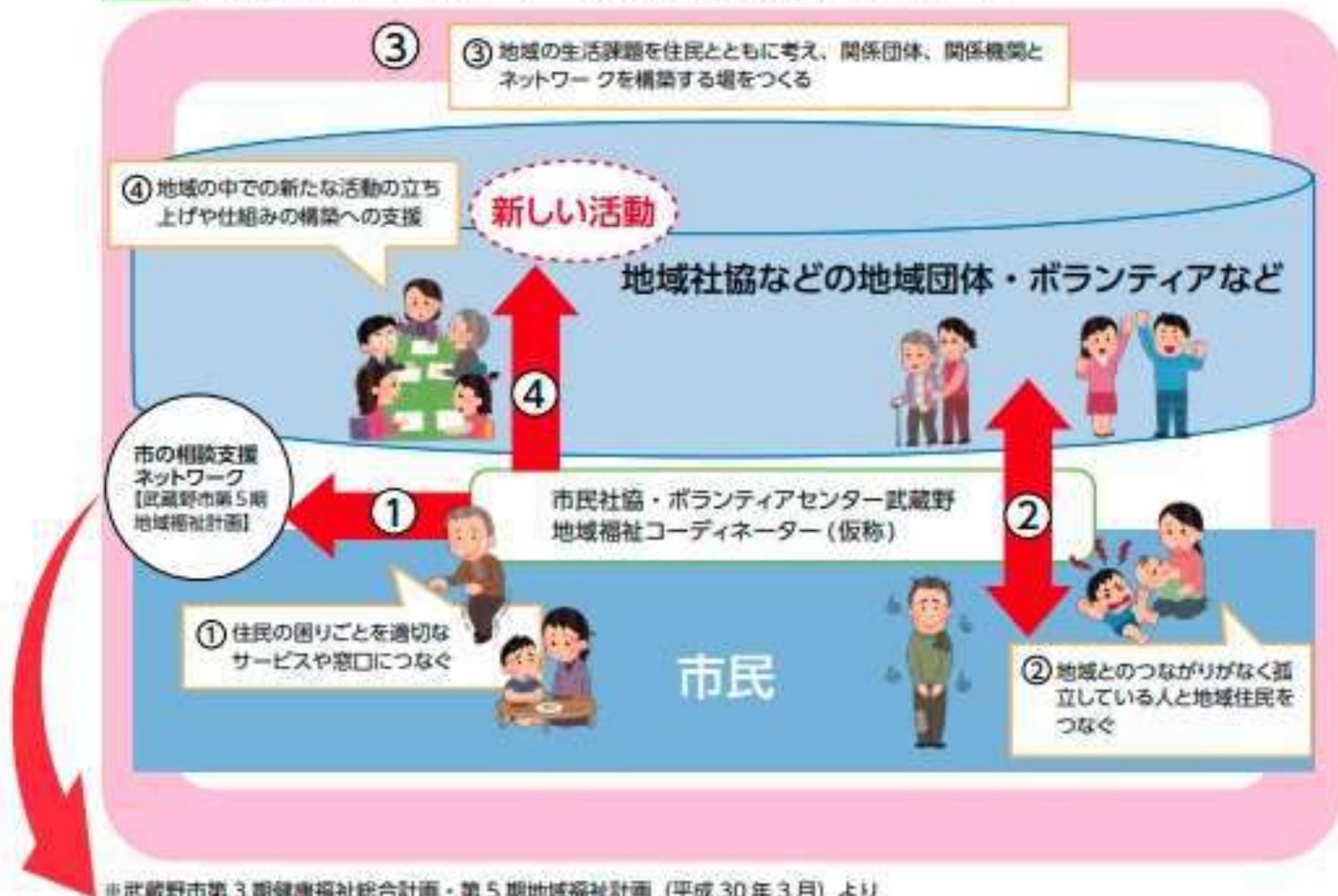


※市民社協からの働きかけは令和2年度からカウントしている。

地域担当職員支援先別件数（平成30年度～令和2年度）



参考 地域福祉コーディネーター（仮称）の果たす機能のイメージ



※武蔵野市第3期健康福祉総合計画・第5期地域福祉計画（平成30年3月）より

相談支援ネットワークの連携強化のイメージ

